

日本
共産党

八幡市議会 報告ニュース

連絡先

山本邦夫市議	982・8844
巖博市議	982・9663
亀田優子市議	982・1277
中村正公市議	983・8312
澤村純子市議	983・6275

2019年9月15日 No.681 日本共産党八幡市議会議員団(983)2005

◇ 市議会メール jcp-ywta@am.wakwak.com ◇ ホームページ⇒ [JCP八幡市議会](#) で検索

介護保険の負担軽減 サービス充実を

八幡市 9月議会

9月6日の八幡市議会で、日本共産党の山本邦夫、澤村純子市議が一般質問をしました。

日本共産党が一般質問

国が交付金を減額 介護保険料に上乗せ

介護保険では、国が25%を負担することになっています。山本市議の追及で、調整交付金の名目で八幡市への国の負担は3.6%減額されていることが判明。減額分は1億7000万円にのぼり、65歳以上の介護保険料を13%も押し上げています。一人当たりの保険料基準額は年間6万3000円ですが、そのうち8500円は国の減額によるものです。

基金積み上げ 3億円台に

山本議員の質問で、2018年度末の介護保険給付費基金は前年度比2100万円増加し、過去最高の3億1791万円に達していることも明らかになりました。

市は、保険料値下げのため、2018～20年度の3年間に基金2億9000万円を投入する計画でしたが、初年度の18年度は基金を投入せず、基金が増えました。

こうした状況をふまれば、昨年度の介護保険料をもっと値下げできたことを示しています。



障害者と介護 65歳時の移行めぐり

障害者の意向 聞くと答弁

山本市議は、障害者が65歳になった時、障害福祉より介護保険を優先とすると説明されている「65歳問題」について追及。市は障害者が必要なサービス、意向を聞きとり、一律に介護保険に移行しないと回答しました。

高齢者の 身近な相談場所

困難ケースは 市が対応 澤村市議に答弁

澤村市議は一般質問で、高齢者の身近な相談体制について市役所の役割、体制などについて聞きました。

澤村市議は、「老老介護」に疲れた高齢者夫婦の無理心中などが各地で起きており、介護に悩む高齢者を孤立化させないため、介護が困難な世帯、家族への身近な相談体制の充実を求めました。これにたいし市は、高齢介護課に専門職として保健師1人、社会福祉士4人を配置し、虐待、困難ケースに対応していると答弁。とくに困難なケースでは、地域ケア会議の開催、地域包括支援センター、医療機関、介護事業所と連携した支援を強めていると答えました。